

科目名	介護等体験	形態	実習	開講期	春・秋
担当教員	柴田 篤志・吉川 範行	単位	—	年次	3

＝授業科目の目標＝

障害のある児童、生徒及び高齢者への介護等体験を通して、「個人の尊厳と社会連携の理念」に関する認識を深める。また、介護や介助、交流などの体験で学んだことを教育実習での教育活動に生かす。

＝履修の条件と学習の方法＝

履修条件：中学校教諭一種免許状取得希望者であること。介護等体験事前指導3回に全て参加すること。
欠席は認めない。欠席の場合、原則として、介護等体験は認められない。

学習の方法：施設及び学校の予定に合わせて体験を進める。

＝授業内容＝

- ・事前指導を受講後、老人保健施設で5日、特別支援学校で2日、計7日間の体験に臨む。計画は各施設、学校の実施計画に則って行う。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

試験は行わない。体験施設及び体験学校から発行される介護等体験証明書の発行をもって7日間の体験を終えた証明とする。なお、証明書は、中学校教諭一種免許状申請に必要なものであり、再発行は原則認められない。

＝テキスト（必携）＝

特になし